

名張市立病院だより **きらり** No.8

発行/名張市立病院 〒518-0481 三重県名張市百合が丘西1-178
 ☎ 0595-61-1100(代表) ☎ 0595-64-7999 Ⓔ http://www.city.nabari.mie.jp/hospital ✉ hp-keiei@city.nabari.mie.jp



市立病院を維持させていくために

一次 比較的軽症 ・ 二次 入院が必要など重症 医療のすみ分けが必要です。

当院は、入院を必要とするような重症患者さま・紹介患者さまを受け入れる二次病院です。医師の負担を減らし、市立病院の機能を維持していくために、一次救急と二次救急のすみ分けが必要とされています。そのため、次のような点にご協力ください。

- ① 昼間の一次救急(比較的軽症な患者さま)は、お近くの診療所への受診をお願いします。
- ② 休日・時間外の一次救急は、応急診療所への受診をお願いします。
- ③ お近くの診療所など、日頃から、かかりつけ医をお持ちください。
- ④ 当院初診の際は、できる限り紹介状をご持参ください。

市立病院を取り巻く状況は深刻です。

全国的に医師不足が深刻です。

全国的な医師不足の原因の一つに、「臨床研修医制度」があります。従来、出身大学で研修を受けていた医師が、全国から研修病院を選べるようになりました。そのため、都市に医師が集中し、地方の大学に残る医師が減少。三重県も、厚生労働省による調査でワースト10に入るなど、深刻な状況です。

市立病院でも、医師が減少しています。

当院では、28人から22人にまで医師が減少しています。特に内科医師が減少しています。派遣元である「大学医局」に所属する医師が減少する中、大学病院自身も病院の機能を維持しなければならず、各病院に医師の派遣をすることが厳しくなっているのです。

当院では、医師を確保するため、引き続き大学への派遣要請を行うなどしていますが、医師の増員は極めて厳しい状況にあります。

医師の労働は極めて過酷となっています。

当院では、365日救急患者さまを受け入れてきました。このことは、医師・看護師・技師に大きな負担となっていました。医師不足によりさらに深刻な状況となっています。

そうした中であっても、医師は、より多くの患者さまの命を救いたいという思いから、精神的にも肉体的にも限界の状態の中で懸命に診療にあたっています。

このままでは病院存続の危機に—

名張市唯一の救急病院・公立病院である当院は、地域に貢献し、安心と安全の救急医療を行っていくことが責務と考えています。

しかしながら、少ない人数の中、これまでどおりの患者さまの受け入れを行うことは困難であり、このままの状況では、病院自体の存続の危機ともなります。

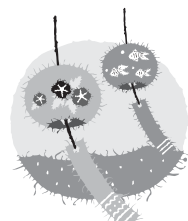
こうした当院の現状をご理解いただき、一次・二次医療のすみ分けにご協力いただきますよう、よろしく申し上げます。

基本理念

市民の皆さまに親しまれ信頼される病院を目指します。

基本方針

- ・ 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づく良質で安心できる医療を行います。
- ・ 地域の診療所、病院と連携して、地域医療、救急医療の充実に努めます。
- ・ 地域に開かれた病院を目指し、ボランティア、学生などを進んで受け入れ、市民との交流を深めます。
- ・ 公共性と経済性を考慮した健全な病院経営に努めます。
- ・ 初心を忘れず、日々研鑽し、働きがいのある明るい病院を創造するよう努めます。



院長就任ご挨拶

院長 竹内 謙二

当院に外科医として赴任させていただいたのは、病院開院前の平成9年2月1日でした。大変きれいな病院で、開院前の準備に慌しかったことが思い出されます。その後、約10年の歳月が流れ、4月1日に思いも寄らなかつた名張市立病院の3代目院長に選任されました。大変な名誉のある職であり、

携を図ってきました。また、研修医の受け入れや、看護学生、薬学部学生、理学療法科学学生および三重大学医学部学生、救急救命士、消防隊員の研修など教育病院としての役割も果たしてきました。

しかし、現在各地で医師不足や病院の統廃合による地域医療の空洞化が進んでいます。当院も経営、

責任の重さを痛感しております。名張市立病院は開院以来、地域医療機関や大学病院との機能分担・連携のあり方が検討されるべき時だと感じております。

医師減少によるサービス低下、スタッフの過重労働など抱える問題は多岐にわたっています。市民の皆さまのご要望に答えるために、この病院でできることは何か、病院のあり方が検討されるべき時だと感じております。

このような状況ではありますが、可能な限り、市民の皆さまをはじめ、医師、看護師、コメディカルスタッフや学生にも選んでいただける病院を目指していきたいと思っております。皆さまの温かいご指導とご支援をお願い申し上げます。

診療室からの実況申継

診療に関するお問い合わせは 市立病院医事相談室へ 61・1100

腰部脊柱管狭窄症について

せきちゅうかんきょうさく

今回は、たくさん患者さんのみえる腰部脊柱管狭窄症についてお話しします。

この病気は加齢により腰椎部分で神経の通り道である脊柱管が蛇腹のように変形してくびれ、狭くなることよって起こります。実際にはどんな症状でしょうか。みてみましょう。

医師 今日はどうされましたか？

患者 最近、ちよつと歩くと脚がだるなつて困りますんや。

医師 そうですか、それでだるくなつたらどうしてはるの？

患者 そこいらでしゃがんで暫くすると良くなつてまた歩けます。

医師 スーパーマーケットなどでカートを押してたらどうです？長く歩けませんか？

患者 ようわかりますな。カート押してたら何ほでも歩けますわ。

これで、ほぼ脊柱管狭窄症が決まりです。解説しますと、少し歩いて脚がだるくなり、休息するとまた歩けるようになることを医学的には間欠性跛行といつて、腰部脊柱管狭窄症の代表的症状です。また、この休息時に前



副院長兼整形外科部長 園田 潤

かがみの姿勢をとることも特徴的で、縮んだ蛇腹のような神経の通り道を広げているのです。つまり、しゃがめば比較的短時間で脚が軽くなり、カートやシルバークーラー、つえ、自転車を押すなどの前屈み姿勢をとることで患者さん自身は気付かない内に歩行距離を伸ばしているのです。

続いて、先ほどの診察がどうなつたかみてみましょう。

医師 腰部脊柱管狭窄症が最も疑われますね。病気というよりは年齢の変化なので癌のような怖いものではありません。あなたのようには30分も歩けるならすぐに手術というのではないですよ。診察室から病院の玄関まで何度か立ち止まるなら手術したほうがいいでしょうね。ほとんどの患者さんは、少しの痛み止めと血管を広げる薬で楽になることが多いですよ。念のため今日は腰のレントゲンを撮つて、MRIの予約もしておきましょう。

患者 はい。お願いします。解説しますと、脚がだるいのだから痛み止めはわかりますね。

では、血管を広げる薬はなぜ効果があるのでしょうか？

研究の結果、腰の神経の通り道の周りは血管が網の目のように入り込んでいて、血管がわかつています。腰部脊柱管狭窄症の患者さんが歩いてくると狭くなつた通り道が振動して血管が刺激を受けて狭くなり、血の流れが悪くなるのがわかつたのです。これを血管を広げる薬で予防すると症状が改善するわけです。年齢からくる病気で、元の若かりし日に戻ることが無いのと同様に完全に治ることはありませんが症状を軽減することは可能です。こんな症状のときはご相談ください。

患者 はい。お願いします。解説しますと、脚がだるいのだから痛み止めはわかりますね。



脊柱管狭窄症の状態
○部分が狭窄部位



正常な脊椎

ナースステーションから

手術室紹介

手術室看護師 仲里 小百合

私たち手術室スタッフは、10人で365日、24時間、緊急手術に対応するために日々努力をしています。特に手術を受ける患者さまの不安と苦痛を最小限にし、手術が行えるように全力を尽くしています。平成18年度の手術件数は年間1298件、そのうち緊急手術は232件と6分の1を占めています。そのため夜間だけでなく、休みの日も24時間自宅待機をし、緊急手術に備えています。また、手術室勤務に加えて、夜間・休日の救急外来を外来所属の看護師とともに交替で行っています。そんな現状の中で、私たち手術室

スタッフは、明るく楽しく、自己の健康管理に気をつけながら看護を行っています。患者さまから「ありがとう」の言葉をいただいた時は、何事にもかえりたい喜びが得られますし「これからもがんばろう」という気持ちになります。当院は外科、整形外科、脳神経外科、眼科、麻酔科の手術に対応しています。患者さまのために、最新の手術器械や日々進歩する技術を習得するために、医師と



ともに努力しています。時には落ち込むこともあります。スタッフでカラオケ大会やバーベキュー大会を行つてリフレッシュしています。

きらりな人

開院したときの自己紹介に「抜け毛が気になる39歳」と書き、口では「歌つて踊れる臨床工学技士」と言っていました。10年経つた今は、「歌つて息切れする臨床工学技士」になった気がします(抜け毛については、写真を参照ください)。臨床工学技士免許の歴史はまだ浅く、臨床工学技士法が1988年4月に施行され、来年20年を迎えます。

この国家資格は、医療の場で共有できる診療機器や生命維持管理装置を管理、保守・点検及びその操作を行うことを業務としています。日々進歩する医療機器に対して名張・伊賀地区で働く臨床工学技士が「伊賀地区CE勉強会」を2003年10月に立ち上げ、新しい医療の情報や新規機種の情報収集をするともに他施設で働く臨床工学技士の連携を深めています。これからも常に平常心を保ち、健康的な臨床工学技士であるよう努めていきます。

推薦文 病院スタッフより

いつもニコニコと笑顔が絶えず、活発爽快な人。朝早くから出勤し、手馴れた作業で透析準備に取り組んでくれています。また当院で唯一の医療機器のスペシャリストであり、だから信頼されています。



臨床工学室 室長 岩口 行廣

新しい機器のご紹介

乳がんの早期発見に有効です! 超音波診断装置(乳腺エコー)



乳がん内にてできる腫瘍などの硬さを色で表示できる最新鋭の超音波診断装置を導入しました。
この装置は、超音波を使って乳房内の腫瘍を検査する装置です。痛みはなく、何度でも繰り返し行うことができるため、早期の乳がんの発見に有効です。

当院では、第1・第3火曜日の午後に、女性医師による外科外来を行っており、マンモグラフィ(X線による検査)とあわせて乳がんの検査ができます(予約制)。
乳がんが気になるかたは、一度受診されてはいかがでしょうか。

検査精度が大幅に向上!

MRI装置

MRI装置が新しくなりました。磁場の強さが1.5倍になり、多様な検査が行えるようになりました。



体内の水分子の運動や弱い血流を画像化することができ、そのため、脳、脊椎、骨、関節はもとより心臓、血管、腫瘍の診断に、さまざまに応用がなされ、検査精度が大幅に向上しました。

また、従来の「狭い、時間が長い、煩い」などの検査にともなう苦痛も大幅に軽減しています。なお、処理能力の向上により、今後の検査待ち日数の短縮も可能となります。

病室のテレビを入れ替えました。

各ベットサイドに備え付けのテレビと冷蔵庫付床頭台は、機器の形式も古く、長期間ご利用いただいておりますが、テレビ画面の液晶化やデジタル放送の開始に向けて、新しく入れ替えました。

テレビは地上デジタル放送の受信ができご覧いただけるチャンネル数が大幅に増加し、画面も目に優しい画像も鮮明な液晶になりました。



また、床頭台には冷蔵庫のほか、セーフティボックスが備えられ貴重品の保管が可能となりました。

外来診療担当表

平成19年7月1日現在

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科 循環器科	第1診	●内科医師	山門	山門	山門	●藤岡	藤岡	山門	山門	泉	泉
	第2診	藤岡	藤岡	●黒田(●泉*2)	黒田/泉(*2)			山中		黒田	黒田
	第3診	●山中	山中	内科医師		山中	山中	佐々木(神経内科)	佐々木(神経内科)	伊藤(神経内科)	伊藤(神経内科)
	第4診	大久保	大久保	田中		大久保		藤岡	藤岡	●大久保	大久保
	第5診	黒田	黒田	循環器科医師(*1)	循環器科医師(*1)	我山	我山	●我山	我山	我山	我山
	第6診					堅村(*6)	堅村(*5)	●内科医師			
泌尿器外来		西川(泌尿器科)(*4)	西川(泌尿器科)(*4)			山田(泌尿器科)(*4)	山田(泌尿器科)(*4)				
外科	第1診	浦田	岩田	竹内	川本 又は 安田(*3)	坪内	岩田	竹内	坪内	浦田	岩田
	第2診	坪内		岩田	坪内	竹内		浦田		坪内	
	第3診	岩田									
脳神経外科	第1診	乾		井田		乾		非常勤医師		井田	
整形外科	第1診	園田		川本		川本		長倉		西田	
	第2診	西田		園田		長倉		園田		川本	
小児科	第1診	須藤博明	須藤博明(予約外来)	須藤京子	須藤博明(予約外来・予約接種)	須藤博明	須藤博明(予約外来・乳児診)	須藤博明	須藤京子(14時~16時)	須藤京子	須藤京子(予約外来)
	第2診								須藤博明(予約外来)		
眼科	第1診	右京	右京	右京		右京	右京	右京	右京(*7)	右京	右京
	第2診									非常勤医師	

●…初診外来 (*1)…パースメーカー外来(1、4、7、10月の第3週のみ) (*2)…隔週交代で診療 (*3)…第1・3週のみ、女性外来
 (*4)…診察室は小児科3診 (*5)…第1水曜以外 診察室は小児科2診 (*6)…第1水曜のみ。診察室は小児科2診 (*7)…第2・4・5週のみ
 ※外来診療担当表は、人事異動などにより変更になる場合があります。あらかじめ名張市立病院医事相談室 0595-61-1100(内線2158)までお問い合わせください。

受付時間

<予約のないかた>

午前8時30分~午前11時30分

※小児科のみ木曜日午後1時30分~午後4時受付

<予約のあるかた>

午前8時~予約終了時刻まで

保険証などは

保険証・医療証などは、月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。